

第3学年 社会科学習指導案

1 小単元名 「スーパーマーケット『〇〇〇』のひみつ」

2 小単元の構想

こんな子どもだから(子どもの実態)	
○ 関心・意欲・態度	本学年の子どもたちは、身近な地域社会における社会的事象に対する興味・関心は高く、進んで調べようとする姿を多く見ることができる。また、見学や調査などの体験的な活動を通して学んでいくことを好む子どもたちである。校区内にあるスーパーマーケットには、保護者と買い物に行ったりする機会も多く、前小単元「買い物調べ」では、地域の販売に関する仕事について意欲的に調べることができた。しかし、地域社会の一員としての自覚は、まだ十分育っていない。
○ 資料活用・表現・コミュニケーション能力	子どもたちは、前小単元「買い物調べ」では、自分たちが調べたことを「買い物地図」に表したり、「買い物地図」からわかることを考えたりすることができた。このように、資料からわかることを考えたり、調べてわかったことを絵や文で表現したりする力が育ってきている。自分なりの考えや思いを発言したりする力も育ってきているが、自分と友達の考えを比べて発言していく力はまだ十分とはいえない。教師の支援や友達の上手な話し方・聞き方を取り入れながら、自分のコミュニケーション能力を伸ばしていこうとする姿は見られる。
○ 知識・理解、社会的な見方・考え方	これまでの生活経験から、子どもたちは、スーパーマーケットについての情報を多くもっている。しかし、それらの情報は、働く人々の工夫としては理解されていない。前小単元「買い物調べ」で、地域には販売に関する仕事があることは理解しているが、それらが、地域の人々の願いを生かして営まれていることや自分たちの生活を支えているということには考えが及んでいない。また、事象を比較したり関連づけたりする社会的な見方・考え方もまだ十分育っていない。

こんな教材で(教材の価値)	
○ 地域の特色や人物の生き方	本小単元では、校区にあるスーパーマーケット「〇〇〇別府店」を取り上げる。見学や調査等、子どもたちが好む体験的な活動を取り入れることができる教材である。また、「〇〇〇店」の店長・S(G T)さんの工夫に視点をあてた学習を展開できる。島田さんの工夫を追究させていくことで、子どもたちに地域社会の一員としての自覚をもたせることができる教材である。
○ 資料活用・表現・コミュニケーション能力	本教材では、「〇〇〇」を見学・調査し、写真などの資料を活用して、調べてわかった工夫を整理しながら表現していく。子どもたちの資料活用の技能や表現力を高めていくことが期待できる。また、店長・Sさんの工夫を伝え合おうとすることが期待でき、子どもたちのコミュニケーション能力を高めていくことができる教材である。
○ 知識・理解、社会的な見方・考え方	本教材では、販売に携わっている人々が、客の多様なニーズを把握して商品を取りそろえるなど消費者の願いをかなえる様々な工夫をしていることや販売に見られる仕事の特色を理解することができる。 このような学習を通して、地域の販売活動は、地域の人々の願いを生かして営まれており、それらは自分たちの生活を支えているという社会的な見方・考え方を育てることができる。意義深い教材である。

こんな支援を(学習活動の工夫)	
【 つかむ段階 】	出合いの場面では、スーパーマーケットで圧倒的に多くの人が買い物をしている事実がわかるグラフ資料を提示することで、子どもたちの「いろいろな店で買い物をしている」という既存の見方・考え方を揺さぶる。そして、校区にあるスーパーマーケット「〇〇〇別府店」の店長・Sさんからのメッセージビデオを視聴することで、学習問題につなげていく。 追究の視点を見つける場面では、「〇〇〇の店長・Sさんの売るための工夫」を調べていくことが焦点化されるように支援していく。
【 さぐる段階 】	Sさんの工夫を具体的にとらえることができるように、「〇〇〇」の見学を計画する。Sさんの工夫を見つけてくることをめあてに見学を行うが、「これは工夫だろうか」など疑問がでてくることが予想される。そこで、2回目の見学を計画し、Sさんへのインタビューなど行い、問題解決へとつなぎたい。
【 まとめる段階 】	調べた工夫を話し合っていく場面では、友達の考えと比べた発言ができるように、事前に代表の子ども考えを提示し、自分の考えと比べられるように支援する。 また、Sさんの工夫と家の人の願いを比べさせることで、2つのことが結び付いていることやSさんの工夫が自分たちの生活を支えていることに気付かせていきたいと考える。

こんな子どもに(小単元の目標)	
○	地域の販売活動の様子に関心をもち、スーパーマーケットで働く人々の工夫を意欲的に調べ、地域社会の一員としての自覚をもとうとする。(関心・意欲・態度)
○	スーパーマーケットで働く人々の工夫や仕事の特色を自分たちの生活と関連づけながら考え、それらが自分たちの生活を支えていることに気付くことができる。(思考・判断)
○	スーパーマーケットで働く人々の工夫について、見学や調査をして調べ、調べたことをわかりやすく表現したり、話し合ったりすることができる。(資料活用・表現・コミュニケーション能力)
○	スーパーマーケットで働く人々の工夫や仕事の特色を理解することができる。(知識・理解)

3 小単元の構成図

【小単元のねらい】

スーパーマーケットで働く人たちは、客の多様なニーズを把握して商品を取りそろえたり、商品の品質管理や売り場での並べ方、宣伝の工夫などをしたりして、消費者の願いをかなえる様々な工夫をしている。

そんなスーパーマーケットで働く人々の工夫のおかげで、わたしたちは、スーパーマーケットで自分たちの生活に必要な物を便利に安心して購入することができ、自分たちの生活と深いつながりがある。

【考えること】

商品をできるだけ安く売るため、客のニーズを把握して商品を仕入れたり、特売日などのイベントを行ったりしている。

(安く売る工夫)

新鮮で安全な商品を提供するため、商品の品質管理や保管、陳列の時間などに気を配り販売している。

(新鮮で安全な商品を売る工夫)

お客さんが快適に買い物ができるように、商品の並べ方を工夫したり、いろいろな種類や十分な量の商品をそろえたり、施設を整えたりしている。

(買い物しやすい工夫)

買い物だけでなく、生活に役立つことや環境問題を考えた取り組みなど、お客さんが立ち寄りたくなるような工夫をしている。

(買い物以外の工夫)

【調べる事実】

○安く売る工夫

- ・客のニーズを考えた商品の仕入れ
- ・たくさん買ってもらえるよう、タイムサービスや特売日などのイベントの実施
- ・ちらしやTVでの宣伝
- ・お客さんがちょっと得したように感じる値段の設定 (100円→97円)
- ・買い物ごとにポイントがたまるポイントカードを発行

○新鮮な商品を売る工夫

- ・毎日、朝早い時間に商品を搬入
- ・お客さんが鮮度を確かめられるよう、生鮮食品をパック詰め
- ・一日に数回の商品の鮮度点検
- ・賞味期限の表示

○安全な商品を売る工夫

- ・生産地の表示
- ・検査済み証明の表示

○商品の並べ方の工夫

- ・商品の案内板
- ・斜めになっている商品棚
- ・店内を順番に一周すると、必要な買い物がスムーズにできる陳列方法
- ・その商品と一緒に買いたくなる商品を近くに陳列 (野菜の近くにドレッシング)

○豊富な品揃え

- ・食料品、日用雑貨、文房具など、いろいろな種類の商品
- ・豊富な種類の商品
- ・十分な量を仕入れ倉庫で保管し、陳列の数をチェックしながら商品を補充

○快適な施設や設備

- ・買い物かご、カート
- ・広い通路・自動ドア
- ・数カ所のレジ
- ・駐車場、駐輪場

○買い物以外の工夫

- ・買い物と一緒にクリーニングも頼める
- ・ゴミを減らすためのリサイクルボックスの設置
- ・お客さんの意見を知るための「お客様の声ボード」
- ・コピー機の設置
- ・店のイベントなどを知らせる「お知らせコーナー」

4 指導計画（13時間）

段階	配時	学習活動と内容	教師の支援
つ か む	1	<p>1 「買い物調べ」のグラフやスーパーマーケット「〇〇〇店」の店長・Sさんのビデオを見て話し合い、学習問題をつくる。</p> <p>(1) グラフやビデオを見て、わかることや疑問に思うことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スーパーマーケットで買い物をしている人がとても多い。 ○ どうしてたくさんの方がスーパーマーケットで買い物をするのだろう。 ○ スーパーマーケット「〇〇〇」には、何かひみつがありそうだ。 <p>(2) 話し合いをもとに、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分なりの学習問題をつくる。 ○ クラスの学習問題をつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(学習問題)</p> <p>たくさんの方が買い物をするスーパーマーケット「〇〇〇」には、どんなひみつがあるのだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家の人たちは、いろいろな店で買い物をしている」という子どもたちの既存の見方・考え方を揺さぶり課題意識をもたせるため、スーパーマーケットで買い物をしている人が圧倒的に多いことがわかるグラフを提示する。 ○ 「〇〇〇店」店長・Sさんに事前に協力をお願いし、お客さんに喜んでもらうことをたくさんしているということを伝えるビデオを撮らせてもらっておく。 ○ 自分なりの考えが整理できるような全体での学習問題をつくる前に、二人組での対話活動の場を設定する。 ○ 調べてみたいことをもとに、学習問題をつくっていくように助言する。
／ さ ぐ る	7	<p>2 学習問題のこたえを予想し、追究の視点を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題のこたえの予想 <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの商品をおいている。 ・値段を安くしている。 ・ちらしやTVで宣伝してる。 ・新鮮な商品を売っている。 ・ポイントカードの発行やタイムサービスなどを行っている。 <p style="text-align: center;">↓ 売るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 追究の視点 ↓ 「〇〇〇店」店長・Sさんの 売るための工夫を調べよう。 <p>3 「〇〇〇店」を見学して、自分なりの考えをつくる。</p> <p>① (1) 1回目の見学に行き、売るための工夫を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 工夫みつけ ○ カードに整理 <p>② (2) 見つけてきた工夫を分類・整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安く売る工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・タイムサービス、特売日 ・ちょっとおまけ(100円→97円など) ○ 新鮮で安全な商品を売る工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・賞味期限の表示 ・検査済み証明の表示 ○ 買い物しやすい工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん量の商品 ・商品の案内板 ・買い物かご、カート ○ 買い物以外の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルボックス ・コピー機 ・クリーニング店 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 根拠のある予想ができるように、事前に家の人にインタビューするなどして予想しておくように助言する。 ○ 自分なりの予想が整理できるように、全体での予想の話し合いの前に、二人組の対話活動の場を設定する。 ○ 疑問点やはっきりしない点が明確になるように、子どもたちの発言を板書で整理していく。 ○ 予想したことが店長・Sさんの売るための工夫であることから、追究の視点を見つけるように助言する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 見つけた工夫を記入できるように、「調べるぞカード」を準備しておく。 ○ 子どもたちが気付きにくい工夫は写真を撮っておき、後で子どもたちに提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 見つけてきた工夫を整理するため「これは工夫かな」と自信のないものだけをカードに書くよう指示する。 ○ カードに書いた工夫を、グループで同じ工夫ごとに分類し、工夫かどうかを話し合う場を設定する。 ○ グループで話し合っても、工夫かどうかははっきりしなかったことについて、全体で話し合う場を設定する。 ○ 子どもたちが気付いていない工夫は、教師が見つけた工夫の写真を提示し、工夫かどうか話し合う場を設定する。

/ ま と め る	① (3) はっきりしないこと、もっとくわしく調べたいこと、店長さんに聞いてみたいことなどを話し合う。	○ 前時の話し合いではっきりしなかったことや店長さんに聞いてみたいことを記入できるように、「もう一回調べるぞカード」を準備しておく。							
	① (4) 2回目の見学に行き、グループごとにくわしく調べたり、店長さんにインタビューしたりする。	○ 焦点化した調査ができるように、調べたいこと別に子どもたちをグループに分けておく。							
	② (5) 調べてわかった自分なりの考えをまとめる。 ○ 各自で考えた表現方法によるまとめ	○ 見学時に撮ってきた写真や集めた資料等を活用するように助言する。							
	3 4 調べてわかったことや自分なりの考えを発表し合い、学習問題のこたえをまとめる。								
	① (1) 「安く売る工夫」グループの友達の発表を聞き、話し合う。 ○ 客のニーズを考えた仕入れ ○ ちらしやTVでの宣伝・ポイントカード ① (2) 「新鮮で安全な商品を守る工夫」と「買い物以外の工夫」グループの友達の発表を聞き、話し合う。 ○ 商品の搬入時間 ○ 鮮度の点検 ○ お客様ボード ○ お知らせコーナー ① (3) 「買い物しやすい工夫」グループの友達の発表を聞いて話し合い、学習問題のこたえをまとめる。 ○ 「買い物しやすい工夫」グループの友達の発表と話し合い ・並べ方の工夫 ・種類、数の工夫 ・設備の工夫 ○ 売るための工夫と買う人の願いの比較と学習問題のこたえのまとめ (売るための工夫) (買う人の願いの) <table border="1" data-bbox="327 1243 917 1545"> <tr> <td>安く売る工夫</td> <td>できるだけ安く買いたい</td> </tr> <tr> <td>新鮮で安全な商品を守る工夫</td> <td>新鮮な物を買いたい</td> </tr> <tr> <td>買い物しやすい工夫</td> <td>楽に、楽しく買いたい</td> </tr> <tr> <td>買い物以外の工夫</td> <td>ゴミを増やしたくない</td> </tr> </table> <div data-bbox="316 1556 917 1881" style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>(学習問題のこたえ) スーパーマーケット「〇〇〇」のひみつは、「〇〇〇」で働くSさんたちが、安く、新鮮に、買い物しやすくするなど、買う人の願いをかなえるいろいろな工夫をしていることだ。 Sさんたちの工夫のおかげで、わたしたちは、便利に、安心して買い物をすることができると。</p> </div>	安く売る工夫	できるだけ安く買いたい	新鮮で安全な商品を守る工夫	新鮮な物を買いたい	買い物しやすい工夫	楽に、楽しく買いたい	買い物以外の工夫	ゴミを増やしたくない
安く売る工夫	できるだけ安く買いたい								
新鮮で安全な商品を守る工夫	新鮮な物を買いたい								
買い物しやすい工夫	楽に、楽しく買いたい								
買い物以外の工夫	ゴミを増やしたくない								
1 5 「〇〇〇店」店長・Sさんに手紙を書く。 ○ 学習の協力のお礼 ○ わたしたちのために、毎日工夫してくれているお礼	○ 学習全体を振り返るとともに、スーパーマーケット「〇〇〇」への愛着を深めるため、店長・Sさんへ手紙を書く場を設定する。								

第3学年 本時指導案

1 本時 「買い物グラフと『〇〇〇』の店長さんのビデオから学習問題をつくる場面」(1/13)

【コミュニケーション1】

2 本時の目標

- 地域の販売に関する仕事に関心を持ち、スーパーマーケット「〇〇〇」のひみつについてさぐる問題意識をもつことができる。

3 本時の見どころ

本時は、2つの資料から学習問題をつくる場面です。店の種類ごとの利用者のグラフと「〇〇〇」の店長さんからのメッセージビデオから疑問をもたせ、二人組での対話活動や全体での話し合いを通して、本時の目標にせまります。

4 本時指導の考え方

子どもたちは、前小単元「買い物調べ」の学習で、自分たちの地域には様々な販売に関する仕事があり、お家の人たちは、それぞれの目的に合わせていろいろな店で買い物をしているということを理解している。

本時は、本小単元の第一時であり、スーパーマーケット「〇〇〇」で働くSさんと出会い、学習問題をつくっていく場面である。スーパーマーケットに対する関心を持ち、「〇〇〇」についてさぐっていかうとする問題意識をもつことが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、前小単元で調べた店の種類ごとの利用者数(一週間分)をグラフに表した資料を提示する。圧倒的にスーパーマーケットで買い物をしている人が多いことから、「家の人たちは、いろいろな店で買い物をしている」という子どもたちの既存の考えを揺さぶり、スーパーマーケットへの関心を高めたい。提示の際には、数の表示を隠しておき、店の種類ごとに提示していくことで、スーパーマーケットの利用者数の多さを印象づけたい。グラフからわかることや疑問を全体で話し合うことで、そのわけについて知りたいという問題意識を共有させていきたいと考える。
- 次に、校区にある「〇〇〇店」の店長・Sさんからのメッセージビデオを視聴し、話し合う場を設定する。Sさんには、事前に協力をお願いしておき、「お客さんに喜んでもらえるようなことをたくさんしている」というメッセージを伝えてもらう。子どもたちは、「〇〇〇店」で買い物をする機会が多く、その店長さんからのメッセージを視聴することで、スーパーマーケット「〇〇〇」をより身近に感じるとともに、「〇〇〇」には何かひみつがあるのではないかという問題意識をもたせていきたい。
- そして、グラフとビデオから調べてみたいと思うことをもとに、学習問題をつくっていくように助言していく。学習問題を自分のものとしてとらえることができるように、一人一人に自分なりの学習問題をつくる場を設定する。また、自分なりの学習問題を整理することができるように、全体での話し合い活動の前に、二人組での対話活動の場を設定する。お互いがつくった学習問題を全体で話し合う際には、子どもたちの発言を板書で整理しながら、クラスの学習問題を子どもたち自身で作りあげていけるように支援していきたい。

5 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
3分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「買い物調べ」の学習では、いろいろなお店があることを知ったね。 ○ 今日からは、どのお店のことを学習していくんだらう。 	<p>1 前小単元の学習を想起し、本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 「買い物調べ」の学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校区にはいろいろなお店がある ・ 様々なお店で買い物をしている <p>(2) 本時学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>スーパーマーケットの資料を見て話し合い、学習問題をつくろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前小単元の学習が想起できるように、学習内容をまとめた掲示物を用意しておく。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ うわあ〜、スーパーマーケットに買い物に行っている人はこんなに多いんだ。 ○ たくさんの人たちがスーパーマーケットで買い物をするのは、どうしてだらう。 	<p>2 店の種類ごとの利用者数のグラフを見て話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グラフからわかることや疑問 ・ スーパーマーケットで買い物をしている人数 ・ スーパーマーケットで買い物をするわけ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スーパーマーケットへの関心を高めるために、スーパーマーケットの利用者が圧倒的に多い事実がわかるグラフを提示する。 ○ スーパーマーケットの利用者が多いことを印象づけるために、グラフの提示の工夫を工夫する。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 店長のSさんに会ってみたいな。 ○ 「〇〇〇」には、たくさんの商品が並んでいるよ。 ○ お母さんが「〇〇〇は安い」って言っていたよ。 ○ 「〇〇〇」には、何かひみつがありそうだ。 	<p>3 「〇〇〇店」店長・Sさんからのメッセージビデオを視聴して話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ メッセージから考えたこと ・ 商品をきれいに並べている ・ 値段を安くしている ・ 商品がたくさんある <p style="text-align: center;">↓</p> <p>何かひみつがあるのではないか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ スーパーマーケット「〇〇〇」にはどんなひみつがあるのだろうかという問題意識をもたせるために、Sさんに事前に協力をお願いしておき、「お客さんに喜んでもらえるようなことをたくさんしている」ということを伝えてもらうメッセージビデオを準備しておく。
15分	<ul style="list-style-type: none"> ○ ぼくは、たくさんの人たちが買い物する「〇〇〇」のひみつを調べてみたい。 ○ 「〇〇〇」のチラシを見たことがあるけど、まだ他にもひみつがありそうなのでこの学習問題にしました。 	<p>4 グラフとビデオをもとに、学習問題をつくる。</p> <p>(1) 自分なりの学習問題をつくる。</p> <p>(2) 二人組での対話活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の学習問題とその根拠 <p>(3) クラスの学習問題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(学習問題)</p> <p>たくさんの人が買い物をするスーパーマーケット「〇〇〇」には、どんなひみつがあるのだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べてみたいことをもとに学習問題をつくっていくように助言する。 ○ 学習問題を自分のものとしてとらえることができるように、一人一人が自分なりの学習問題をつくる場を設定する。 ○ 自分なりの学習問題を整理することができるように、対話活動の場を設定する。
7分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「〇〇〇」のひみつを早く調べたいな。 ○ 店長さんにもっと話を聞いてみたい。 	<p>5 「今日の学習で」を書き、本時学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習で、「〇〇〇」について思ったこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○ クラス全体の追究意欲を高めるために、「〇〇〇」を調べる意欲の高まりが見られる子どもを意図的に指名する。

第3学年 本時指導案

1 本時 「たくさんの人が買い物をする『〇〇〇』のひみつを予想し、追究の視点をつくる場面」(2/13)

【コミュニケーション2】

2 本時の目標

- 「〇〇〇」で働く店長・Sさんの工夫を調べようとする意欲をもつことができる。

3 本時の見どころ

本時は、「『〇〇〇』には、どんなひみつがあるのだろう」という学習問題のこたえを予想し、追究の視点をつくっていく場面です。これまでの生活経験や二人組での対話活動により、一人一人に予想をもたせ、全体での話し合い活動を通して、本時の目標にせまります。

4 本時指導の考え方

前時学習で子どもたちは、スーパーマーケットで買い物をする人がとても多いことに気付き、スーパーマーケット「〇〇〇」には、何かひみつがあるのではないかと考え、「たくさんの人が買い物をするスーパーマーケット「〇〇〇」には、どんなひみつがあるのだろう。」という学習問題をつくっている。

本時は、たくさんの人が買い物をする「〇〇〇」のひみつを予想し、追究の視点をつくっていく場面である。こたえを予想し、追究の視点をつくっていくことで、「〇〇〇」で働く店長・Sさんの工夫を調べようという意欲をもつことが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、たくさんの人が買い物をする「〇〇〇」のひみつを予想していく。その際、根拠のある予想ができるように、事前に家の人にインタビューしたり、ちらしなどの資料を集めたり、また、実際に「〇〇〇」に買い物に出かけるなどして予想を考えておくように助言する。

全体での予想の話し合いの前に、二人組での対話活動の場を設定し、自分なりの予想の根拠が整理できるようにしていきたい。

- 次に、「値段を安くしている」や「ちらしで宣伝している」などの予想したことが店長・Sさんの売るための工夫であることに気付くことができるように、「どうして、『〇〇〇』は、こんなことをしているのか」と発問し、考えさせたい。そして、店長・Sさんの売るための工夫を調べると、「〇〇〇」のひみつがはっきりしそうだというところから、店長・Sさんの売るための工夫を調べようという追究の視点をつくっていきたい。
- そして、工夫を見つける視点を増やすことができるように、「〇〇〇」の店内の写真を提示し、売るための工夫を見つける活動を取り入れていく。子どもたちが見つけた工夫を板書で整理し、「〇〇〇」の見学で工夫を見つける視点がはっきりするようにしたい。また、この写真で見つけた工夫のほかにも、どんな工夫があるのか調べたいという意欲につなげていきたい。

5 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
3分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「〇〇〇」のひみつは、何だろう。 ○ 調べていくことを見つけたいな。 	<p>1 本時学習のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>「〇〇〇」のひみつを予想し、調べていくことを見つけよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習は、「〇〇〇」のひみつを予想し、調べていくことを見つけていくことを知らせる。
15分	<ul style="list-style-type: none"> ○ チラシで安売りの品物を教えてくれるので、値段を安くしていることだと思う。 ○ 品物がいろいろあることだと思う。いろんな品物があると晩ごはんの買い物をするとき、スーパーだけですむから。 ○ ぼくたちが予想したことはSさんの売るための工夫だ。 	<p>2 「〇〇〇」のひみつを予想し、調べていくことを見つける。</p> <p>(1) 事前に立てた予想を見直す。</p> <p>(2) 二人組での対話活動をする。 ○自分の予想と根拠の話し合い</p> <p>(3) 予想について話し合い、調べていくことを見つける。</p> <p>[予想]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○値段を安くしている。 ○たくさんの商品を置いている。 ○ちらしやTVで宣伝している。 ○新鮮な商品を売っている。 ○ポイントカードがある。 ○タイムサービスをしている。 <p>[調べていくこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○店長・Sさんの売るための工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 根拠を明らかにして、事前に予想してきたことを伝えるように助言する。 ○ 予想の手がかりとなるように、〇〇〇のCMやちらしを提示する。 ○ 自分なりの予想と根拠が整理ができるように、二人組での対話活動の場を設定する。 ○ 予想したことが店長・Sさんの売るための工夫であることから、追究の視点をつくるように助言する。
20分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大根は立てて並べてあるよ。これは、工夫じゃないかな。 ○ 牛乳が〇〇〇〇〇や△△△△△△△などいろいろある。 ○ 商品の看板があると、どこに何が置いてあるかわかりやすいので、工夫だと思うよ。 ○ 入口にカートが置いてあるね。 	<p>3 〇〇〇の店内の写真から工夫を見つける。</p> <p>(商品についての工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品の案内板がある。 ○魚や肉、洗剤、文房具などいろいろな種類の商品がある。 ○牛乳だけでも多くの商品がある ○商品がななめに並んでいる。(設備の工夫) ○買い物かごやカートがある。 ○レジがたくさんある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 追究の視点を増やすことができるように、「〇〇〇」の店内の写真を提示し、売るための工夫を見つける活動を取り入れる。 ○ 「〇〇〇」の見学で工夫を見つける視点がはっきりするように、子どもたちが見つけた工夫を板書で整理する。 ○ 「〇〇〇」の店内写真から工夫を見つける活動を通し、ほかにも工夫がないか〇〇〇に行き調べてくるように助言する。
7分	<ul style="list-style-type: none"> ○ Sさんが、商品を安く売るために、どんな工夫をしているのか調べてみたい。 	<p>4 「今日の学習で」を書き、本時学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Sさんの工夫について調べてみたいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えをふり返ることができるように、「今日の学習で」を書く視点を示す。

第3学年 本時指導案

1 本時 「〇〇〇の工夫について話し合い、学習問題のこたえをまとめる場面」(12/13)

【コミュニケーション3】

2 本時の目標

- スーパーマーケットで働く人々の工夫を理解することができる。
- スーパーマーケットで働く人々の工夫を自分たちの生活と関連づけながら考え、それらが自分たちの生活を支えていることに気付くことができる。

3 本時の見どころ

本時は、「〇〇〇」の「買い物しやすい工夫」について話し合い、学習問題のこたえをまとめる場面です。売る側の工夫と買う側の願いを比べて話し合うことを通して、本時の目標にせまります。

4 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、スーパーマーケット「〇〇〇」の「安く売る工夫」、「新鮮で安全な商品を売る工夫」、「買い物以外の工夫」について話し合ってきた。

本時は、「買い物しやすい工夫」について話し合い、学習問題のこたえをまとめていく場面である。「〇〇〇」で働く人々が、様々な工夫をしていることを理解し、それらの工夫が買う人の願いをかなえていることや自分たちの生活を支えていることに気付くことができるようになることが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手立てをとりながら学習を展開していく。

- まず、「買い物しやすい工夫」について調べてわかったことを発表させていくが、子どもたちは3つの工夫「並べ方の工夫」「種類・数の工夫」「設備の工夫」に分類して追究してきている。それぞれの工夫ごとに代表の子どもに発表させ、意見や付け加えて話し合いを深めていきたい。代表の子どもの考えは事前に提示しておき、自分の考えと比べられるようにしておく。また、工夫の理由の発言の中に、買う側の願いとつなげた考えがあることが予想される。そこで、意図的に指名したり、板書で整理したりして、売る側の工夫と買う側の願いのつながりに気付かせていきたい。
- 次に、事前に行った保護者への「買い物アンケート」の結果の資料を提示する。このアンケートは、子どもたちが、お家の人に「買い物をするとき、どんなことを考えて買い物をするか」をインタビューしたものである。この買う側の願いと売る側の工夫とを比べさせることで、双方のつながりについて考え、「〇〇〇」で働く人々の工夫は、買う人の願いをかなえる工夫であることに気付くことができるようにしたいと考える。売る側の工夫と買う側の願いを線で結んで板書で整理することで、双方のつながりに気付かせていきたい。
- そして、売る側の工夫という視点からだけでなく、買う側のニーズに合っているからこそ、スーパーマーケットで買い物をする人が多いのだという視点に気付いた学習問題のこたえを見つけたい。売る側の工夫と買う側の願いのつながりをもとにこたえをまとめていくよう助言する。また、「もし、Sさんたちが工夫しなかったらどうなるだろう」と問いかけ、自分たちの生活とのつながりを考える場を設定することで、「〇〇〇」で働く人たちの工夫のおかげで、生活に必要な物を便利に、安心して購入することができ、自分たちの生活が支えられているということに気付いたまとめができるよう支援していきたい。

5 本時の展開

配時	期待する子どもの姿	学習活動と内容	教師の支援
2分 20分	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○○○の「買い物しやすい工夫」の話し合いが楽しみだ。 ○ ○○○のひみつは、なんだろう。 ○ 店長さんにインタビューしてわかったんだけど、「○○○」には約1000種類の商品があります。たくさんの種類があると、お客さんはいろいろな物が買えると思う。 ○ □□君に付け加えて、たくさんの種類があると、お客さんは選んで買うことができるから、「○○○」で買い物をすると思うよ。 	<p>1 本時学習のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「買い物しやすい工夫」について話し合い、学習問題のこたえをまとめよう。</p> </div> <p>2 「買い物しやすい工夫」について話し合う。</p> <p>(1) 「並べ方の工夫」グループの友達の発表を聞き、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品の案内板 ○斜めになっている商品棚 ○買い物がスムーズにできる陳列 ○野菜売り場にドレッシング <p>(2) 「種類・数の工夫」グループの友達の発表を聞き、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食料品、日用雑貨など、いろいろな種類の商品 ○ひとつの商品にたくさんの種類 ○十分な量を倉庫で保管 ○陳列の数量をチェック・補充 <p>(3) 「設備の工夫」グループの友達の発表を聞き、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○買い物かご、カート、自動ドア ○広い通路 ○数台のレジ ○駐車場、駐輪所 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習は、「買い物しやすい工夫」について話し合い、学習問題のこたえをまとめていくことを知らせる。 ○ 「並べ方の工夫」「種類・数の工夫」「設備の工夫」ごとに、話し合っていくことを知らせる。 ○ 話し合いが深まるように、代表の子どもの発表に付け加えや意見を出し合っていくように助言する。 ○ 友達と比べた発言ができるように、事前に代表の子どもの考えを提示しておく。 ○ 考えの根拠がはっきりするように、子どもたちの発言を板書で整理していく。 ○ 売る側の工夫と買う側の願いのつながりに気付くことができるように、売る側の工夫の理由を買う側の願いとつなげた考えをもっている子どもを意図的に指名する。
15分	<ul style="list-style-type: none"> ○ Sさんたちの工夫と家の人を比べてみると、ぴったり合ってるね。 ○ Sさんたちは、お客さんのことを考えた工夫をしている。 ○ Sさんたちが工夫してくれているおかげで、ぼくたちは、便利に買い物することができるね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>スーパーマーケット「○○○」のひみつは、「○○○」で働くSさんたちが、安く、新鮮に、買い物しやすくするなど、買う人の願いをかなえるいろいろな工夫をしていることだ。</p> <p>Sさんたちの工夫のおかげで、わたしたちは、便利に、安心して買い物をすることができる。</p> </div>	<p>3 売る側の工夫と買う側の願いを比べて話し合い、学習問題のこたえをまとめる。</p> <p>(1) Sさんたちの工夫と家の人を比べて話し合う。</p> <p>(安く売る工夫) ←→ (できるだけ安く買いたい)</p> <p>[新鮮な商品を売る工夫] ←→ (新鮮な物を買いたい)</p> <p>(買い物しやすい工夫) ←→ (楽に買い物したい)</p> <p>(買い物以外の工夫) ←→ (ゴミを増やしたくない)</p> <p>(2) 学習問題のこたえをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 売る側の工夫と買う側の願いのつながりに気付くことができるように、保護者への「買い物アンケート」の結果の資料を提示し、つながりをむすんでいく。 ○ Sさんたちの工夫のおかげで、自分たちの生活が支えられていることに気付けるよう自分たちの生活とのつながりを考える場を設定する。 ○ 買う側のニーズに合わせた工夫をしているからこそ、○○○で買い物をする人が多いという視点に気付くことができるように、Sさんたちの工夫と家の人を願いのつながりをもとに、こたえをまとめていくように助言する。
8分	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○○○のひみつはSさんたちが、お客さんのことを考えた工夫をしていることだ。 	<p>4 「今日の学習で」を書き、本時学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スーパーマーケット「○○○」のひみつの書きまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えをふり振り返り整理することができるように、「今日の学習で」に、学習問題のこたえを自分なりの言葉で書きまとめるように助言する。